

《平成29年度の経過と評価》

事業所が提供している福祉サービスは居宅介護、短期入所を中心として多岐に渡り、障害者の地域生活に必要な不可欠なものである。厳しい運営体制の中、短期入所を中心として事業運営をしている。ボリュームは小さくても定型業務は少なく、利用希望に合わせた柔軟な対応が必要となり利用調整も難しい。利用希望に対して支援体制が整わないため受入れができず、童里夢、奏楽利用者からの短期入所を活用した自立生活訓練の再開希望があるが要望に沿えない状況が続いている。外出支援、家事援助の利用希望とのマッチングも厳しく、年度末に登録ヘルパー2名が離職し人手不足が深刻で現状を維持しての事業の継続は危うい状況にある。

直接支援業務（利用者対応）を優先するあまり、細部に不備、不手際も散見し、対応が後手に廻り追い付かず対処療法的措置に留まる状況にある。事業所内での緊張感、危機感の不足、運営体制のマンネリ化が悪弊を生み、変化への対応も遅くなりがちである。職員配置部分では、法人全体で運営体制の見直し（強化）をすすめる必要があり、現状維持では行政からの負託、利用者からの信頼等に応えることは難しく目的（改善）意識なく業務を続けることは、事業の継続ができなくなる。

地域からの参加も視野に入れマザーズサロン、防災勉強会等を企画して実施している。近隣に向け（感謝の気持ちを込めて）夏祭りを主催し、法人内事業所の協力も得て成功させることができた。準備等に一部課題は残るものの概ね好評であり、より発展させて事業所の強みを生かした地域に向けた取り組みとして根付かせたい。

今まで対応が行き届かなかった（既存建物への工事、機器類の設置等が必要とされた）建築基準法、消防法への適合工事を終え、補助対象部分、その他の部分も合わせると大きな工事となったが予定通りに完了し、使いやすい建物に生まれ変わった。

行政から指導を受けた職員配置規準などの法令順守は最低ラインとして、安定した事業運営体制を整える（職員が安心して働ける環境づくり）責務がある。職員一人ひとりの意欲と能力が結びつくことで大きな力となることを確信して運営体制の変更、事業の取捨選択についても喫緊の課題として検討をすすめる期限を決めて結論を出す。

《重点課題に対する取り組み》

1. 運営基盤・体制の強化（運営・管理体制、支援体制）

管理者会議、事業所連絡会での課題・情報共有を通して、円滑な事業運営に努めている。年度の途中で常勤職員が1名退職し、厳しい運営体制の中で業務を継続しており、利用調整と共に次年度に向けての支援体制づくりのための検討・準備をすすめてきた。

行政の現地指導において、運営体制の不備を指摘され改善を求められ対応したが、報告が適切にできずに対応が後手に廻るなど、報告・連絡・相談等、情報共有に関する部分が弱く同じ失敗を繰り返しており抜本的な見直し・変革が急務となる。

継続重点課題として職員配置を見直して運営体制の立て直しをおこない、常勤職員同士、業務（バランス、進捗状況、他）の情報共有、相互確認を通して業務を遅滞なくおこなう体制を整える。

## 2. 平成30年度に向けて運営体制のみなおし、整理、改変

職員配置バランス、業務の効率化を考慮して相談支援事業（計画相談約60件）の廃止を決め、相談支援事業所奏楽と業務を統合して引き継いでいる。日中一時支援、及び福祉有償運送の事業の在り方については、休止、廃止を含め継続課題としている。日中一時支援の課題として、利用者が特定の利用者に限られ事業の拡がりが見込めない・・・利用者、また家族からは感謝され評価されているが、報酬単価が低く事業運営が成り立たない・・・など明確であり、今後変化なしに事業を継続することは厳しい状況にあり期限を切り結論を導きたい。

利用調整が困難な中、処遇困難ケースに対して行政にも理解を求めながら、本人の思い沿う支援体制をつくる利用者支援に対する対応は高く評価されるべきである。

共同生活援助事業との統合に向けての動きは具体的には進まず、継続課題として協議をすすめている。“すたあと”と“ばあとなあ”は地域生活を支える事業としての共通点があり親和性が高く、職員間の連携・協力も取り易い。各事業所間の協力体制づくりに向けて前向きの結論を得たい。職員一人ひとりの思いを大切に、全体をまとめ信頼関係の構築、お互いの業務の理解を通して協力できる体制づくりをすすめる。

## 3. 人材育成 支援力の向上

月1回のヘルパー会議を活用しての研修報告等、情報共有の中で意見の交換も活発である。チームワークも良く意欲的に外部研修にも参加している。安曇野で参加した発達障害研修の成果を法人全体研修にて発表をした。

法人内の各事業所に向けた“すたあと”からの企画・発信も多く、職員の親睦、協力体制づくりにおいて大きな役割を果たしている。各委員会活動にも参加して業務改善、情報共有にも努めている。

統括管理者がスタッフ会議に参加し事業運営に関わってきたが、行政の指導で指摘を受けるなど不備も多く、職場内指導は上手く機能していない。簿冊類、支援記録等を適切に管理する能力が不十分である。周囲からの評価に対して真摯に耳を傾け、事業所としての基礎部分にも目を向けなければならない。長所を伸ばし短所を改善することを旨とし、支援力の向上と共に、約束、期限等を守り地域から信頼される事業所と成り得るよう努める。

## 4. 施設整備事業によるスプリンクラー設置 既設建物の改修

国庫補助を受け、改正された消防法に対応するためスプリンクラーの設置、消防設備（誘導灯、非常用照明等）を設置し、併せて都市計画法、建築基準法に適合させるため建物用途の変更をおこなった。また今後複数年、既存建物を利用することを見込んで屋内の改修工事をおこない間仕切りを変え、居室レイアウトを変更している。現場からの意見を取り入れ使い勝手のよい建物となり、今後は建物の特徴を生かしてスペースを有効活用できるようソフト面の工夫・向上にも注力する。

利用実績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）≫

(1) 指定居宅介護等事業

- ①居宅介護      － 男：15名 女：17名 【計：32名】
  - ②行動援護      － 男：7名 女：2名 【計：9名】
  - ③重度訪問介護 － 男：0名 女：0名 【計：0名】
- } 【合計：41名】
- ④移動支援      － 男：19名 女：18名 【計：37名】
- (移動支援事業)

ヘルパー利用：指定居宅介護等事業（行動援護を含む）、指定移動支援事業

※実績人数は利用実人数

月		居宅介護 身体介護	居宅介護 家事援助	居宅介護 通院介助	行動援護	移動支援 身体あり	移動支援 身体なし	合計
4月	実績人数	14名	8名	7名	5名	17名	10名	61名
	実績時間	97.5h	37h	19h	39h	78.5h	47h	318h
5月	実績人数	13名	5名	7名	5名	16名	12名	58名
	実績時間	92.5h	36.5h	23h	25.5h	73.5h	76h	327h
6月	実績人数	14名	7名	8名	5名	17名	11名	62名
	実績時間	101.5h	32.5h	20h	35.5h	77.5h	50.5h	317.5h
7月	実績人数	14名	7名	7名	5名	10名	9名	52名
	実績時間	99.5h	34.5h	15.5h	28h	45h	36h	258.5h
8月	実績人数	15名	6名	5名	5名	8名	9名	48名
	実績時間	83h	35h	20h	27h	31.5h	31.5h	228h
9月	実績人数	14名	7名	7名	5名	11名	9名	53名
	実績時間	97.5h	28.5h	15.5h	19h	44.5h	44.5h	249.5h
10月	実績人数	13名	5名	6名	5名	10名	10名	49名
	実績時間	91.5h	32h	13h	25.5h	45h	39.5h	246.5h
11月	実績人数	14名	7名	5名	5名	14名	11名	56名
	実績時間	99h	33.5h	20.5h	29h	73.5h	60h	315.5h
12月	実績人数	14名	7名	5名	5名	11名	12名	54名
	実績時間	86.5h	36.5h	11.5h	28.5h	57h	52h	272h
1月	実績人数	15名	7名	7名	5名	12名	9名	55名
	実績時間	84.5h	21h	17.5h	19.5h	44h	37.5h	224h
2月	実績人数	15名	8名	8名	5名	13名	8名	57名
	実績時間	111.5h	25h	18.5h	23h	66h	30h	274h
3月	実績人数	13名	8名	6名	4名	9名	8名	48名
	実績時間	111.5h	55h	15.5h	41.5h	54h	97.5h	375h
合計	実績人数	168名	82名	78名	59名	148名	118名	653名
	実績時間	1142.5h	385h	205.5h	326h	667.5h	536h	3262.5h
月平均	実績人数	14名	6.8名	6.5名	4.9名	12.3名	9.8名	54.4名
	実績時間	95.2h	32.1h	17.1h	27.2h	55.6h	44.7h	271.9h

## (2) 指定短期入所事業

男：39名 女：25名 【計：64名】

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	障害児
人数	0名	3名	6名	10名	13名	14名	18名

実績人数・宿泊日数

※実績人数は利用実人数

月	実績人数	宿泊(日数)	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	障害児	平均人数(1日)
4月	32名	19日	0名	1名	2名	2名	9名	6名	12名	4.4名
5月	39名	18日	0名	1名	3名	7名	11名	6名	11名	5名
6月	35名	18日	0名	2名	2名	5名	10名	7名	9名	4.9名
7月	32名	16日	0名	2名	2名	4名	7名	7名	10名	5.3名
8月	32名	17日	0名	1名	2名	4名	8名	7名	10名	4.6名
9月	31名	15日	0名	2名	1名	4名	10名	6名	11名	5.4名
10月	32名	18日	0名	2名	2名	2名	10名	8名	8名	4.9名
11月	33名	17日	0名	2名	2名	4名	11名	6名	8名	4.9名
12月	33名	16日	0名	2名	3名	4名	10名	7名	7名	5.4名
1月	32名	14日	0名	2名	2名	4名	9名	6名	9名	5.3名
2月	33名	15日	0名	3名	2名	3名	9名	6名	9名	5.3名
3月	35名	22日	0名	3名	3名	5名	8名	9名	7名	4.5名
合計	399名	205日	0名	23名	26名	48名	112名	81名	112名	
月平均	33.3名	17.1日	0名	1.9名	2.2名	4名	9.3名	6.8名	9.3名	5名

(3) 指定日中一時支援事業（地域生活支援事業）

男： 8名 女： 6名 【 計： 14名 】

※実績人数は利用実人数

月	実績 人数	延べ 人数	利用 日数	身体介護 伴わない	身体介護 伴う	重心	平均人数 (1日)
4月	6名	22名	15日	0名	10名	12名	1.5名
5月	5名	21名	16日	0名	10名	11名	1.3名
6月	6名	28名	18日	0名	13名	15名	1.6名
7月	7名	26名	16日	0名	15名	11名	1.6名
8月	12名	34名	16日	0名	23名	11名	2.1名
9月	6名	25名	15日	0名	12名	13名	1.7名
10月	8名	30名	16日	0名	18名	12名	1.9名
11月	9名	27名	16日	0名	17名	10名	1.7名
12月	7名	23名	14日	0名	12名	11名	1.6名
1月	6名	16名	10日	0名	8名	8名	1.6名
2月	7名	20名	11日	0名	12名	8名	1.8名
3月	10名	31名	16日	0名	22名	9名	1.9名
合計	89名	303名	179日	0名	172名	131名	
月平均	7.4名	25.3名	14.9日	0名	14.3名	10.9名	1.7名

(4) 福祉有償運送事業

男：19名 女：20名 【 計：39名 】

月	移 送	
	実人数	回数
4月	23名	60回
5月	30名	63回
6月	21名	55回
7月	12名	36回
8月	18名	39回
9月	19名	45回
10月	22名	55回
11月	25名	56回
12月	20名	43回
1月	16名	31回
2月	17名	31回
3月	17名	40回
合計	240名	554回
月平均	20名	46.2回

(5) 指定相談支援事業

男：37名 女：23名 【計：60名】

(内、障害児 男：14名 女：2名)

※新規：計画更新時も含む

月	計画相談件数（豊橋市）		計画相談件数（豊川市）	
	障害者	障害児	障害者	障害児
	新規／モニタリング	新規／モニタリング	新規／モニタリング	新規／モニタリング
4月	1件／15件	1件／3件	0件／0件	0件／0件
5月	3件／16件	0件／2件	0件／2件	0件／0件
6月	1件／8件	1件／1件	0件／0件	0件／0件
7月	1件／12件	2件／2件	0件／0件	0件／0件
8月	5件／13件	2件／3件	1件／1件	0件／0件
9月	2件／10件	3件／3件	0件／1件	0件／0件
10月	3件／10件	0件／1件	0件／1件	0件／0件
11月	0件／13件	0件／1件	0件／1件	0件／0件
12月	3件／8件	2件／1件	0件／0件	0件／0件
1月	1件／12件	0件／2件	1件／1件	0件／0件
2月	1件／14件	1件／0件	0件／0件	0件／0件
3月	1件／10件	3件／3件	0件／0件	0件／0件
合計	22件／141件	15件／22件	2件／7件	0件／0件

(6) その他

・入浴利用（毎月1名）

4月：10回、5月：9回、6月：11回、7月：8回、8月：9回、9月：10回

10月：11回、11月：9回、12月：11回、1月：9回、2月：7回、3月：10回